

国語表現

単位数	3単位	対象学年	3年	対象コース・クラス	調理・服飾
使用教科書		副教材等	国語必携ライトパーフェクト演習・プリント配布		

1. 学習の到達目標

現代社会の生活において欠かすことのできない国語力を身につける。これまでに国語の授業で学んできたことを整理し、それらの知識を確かなものにしていく。
演習を積み重ねていくことにより、国語力の充実と自己表現の育成を図る。
さまざまな進路実現に対応できる国語力を身につける。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

1. 漢字の読み、書き取りを中心に基礎的な言語能力を身につける。
2. 国語における一般常識や、SPI対策などを学ぶ。
3. 実際の就職試験や入学試験の問題を解き、演習を重ねることで知識を確かなものにする。
4. しっかりとした文章を書くための基礎を、正しい表記の方法から段階的に学ぶ。
5. 敬語の使い方や手紙の書き方など、実生活で役立つ知識を身につける。

3. 学習上のメッセージ

1. 社会人として通用する正しい日本語を身につけよう。
2. 日本語検定に合格しよう。
3. 教科書以外の関心のある本や新聞記事を読み、高い学習意欲とその持続力を持とう。

4. 評価の観点・方法（年間の評定）

評価は次の5つの観点から行う。

関心・意欲・態度	1. 自ら学ぶ姿勢を持ち、意欲的に学習に取り組んでいるか。 2. 自分の考えを持ち、積極的に表現しようとしているか。
話すこと・聞くこと	1. 自分の考えをまとめ、場面や目的に応じて話しているか。 2. 相手を尊重し、的確に聞き取っているか。
書くこと	1. 自分の考えをまとめ、相手や目的に応じて適切に文章にしているか。
読むこと	1. 自分の考えを深め、発展させながら文章を的確に読みとっている。 2. 積極的に文章に親しんでいるか。
知識・理解	1. コミュニケーション能力を支える語彙・漢字・表現力などを身につけているか。

(評価方法)

1. 授業に取り組む姿勢や授業中の態度
2. 定期テスト
3. 授業ノート・授業プリントの提出
4. 漢字検定、日本語検定等の受検結果

5. 学習内容と評価について

単元名	使用教科書項目	指導内容と評価のポイント
第1編 基礎編①	演習1～10	<ul style="list-style-type: none"> ・重要語の読み書きを丁寧に行う。 ・同義語、反対語などの語彙力を増やす。 ・送り仮名などの表記に気をつける。 ・四字熟語、同音異義語などの語彙力を増やす。 ・主な文学作品について学ぶ。
1学期中間試験		
第2編 基礎編②	演習1～10	<ul style="list-style-type: none"> ・慣用句、ことわざを知る。 ・用い方で変わる読みについて理解する。 ・同音の漢字、同訓異義語などの語彙力を増やす。 ・三字熟語、同じ型の慣用句などの語彙力を増やす。 ・呼応の副詞、特殊な言葉を知る。
1学期期末試験		
第3編 基礎編③	演習1～10	<ul style="list-style-type: none"> ・難読語の読みを丁寧に行う。 ・同義語、反対語などの語彙力を更に増やす。 ・実際の入試問題を解き、演習を重ねる。 ・敬語について学び、理解する。
2学期中間試験		
第4編 対策編	演習1～6	<ul style="list-style-type: none"> ・SPI, 公務員対策を学ぶ。 ・実際の試験問題を解き、演習を重ねる。
2学期期末試験		
第5編 表現編	演習1～6	<ul style="list-style-type: none"> ・表記、表現の基礎を学ぶ。 ・手紙の書き方、封筒の書き方を学ぶ。 ・電話の対応について学び、実践力を身につける。
卒業試験		